

令和2年第3回大崎市議会定例会一般質問発言通告書

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
1	1	早坂 憂	<p>1 昨年の台風以降取り組んできた内水対策と今後の対応について</p> <p>(1) 住宅の増加によって排水機能が低下し、その都度自家用車を避難させている地域に対する内水対策や、今後の対応について伺う</p> <p>(2) 土地が低い冠水常襲地区に宅地が造成される場合、かさ上げの必要性などを市から指導、助言しているのか</p> <p>(3) 上記に関連し、もし拘束力が低い場合、条例化なども検討して「水害に強いまちづくり」をしていくべきではないか</p> <p>2 みやぎの志教育の地域特化版「おおさきの志教育」について</p> <p>(1) 当時の立場で教育長が策定に携わった「みやぎの志教育」について、策定から約10年経過した現在、子供たちの教育にどのように生かされてきたと考えるか、所見を伺う</p> <p>(2) 大崎市の特色や強みを生かした独自の取組を加えて、「おおさきの志教育」を実現してはどうか。また、志シートが市内小中学校ではどのように活用されているか、具体例を伺う</p> <p>(3) コロナ禍において、それぞれの小中高及び地域との連携や交流がなかなか難しい状況だが、今年度はどのように工夫をしながら志教育の3つの視点「人と関わり、よりよい生き方を求め、社会での役割を果たす」を学ぶのかを伺う</p> <p>3 大崎市内に保存展示されている蒸気機関車の今後について</p> <p>(1) 各地域から解体を望む声、保存を望む声がそれぞれ聞こえるが、現在の市の考えについて伺う</p> <p>(2) 上記に関連し、学校再編が進んだ後の廃校利活用の観点から、地域の防災拠点としつつ資料館や博物館、農業遺産のような施設にして、足を運んでいただけるような施設の設置について可能性は</p> <p>(3) 仮に保管となった場合、地域やボランティアの協力が不可欠で、そのような機運が高まった場合、市の支援の可能性について伺う</p> <p>(4) 保存展示が決まった当時の契約書はどれくらいの拘束力があるのか</p>
2	25	木内知子	<p>1 放射能汚染農林系廃棄物処理問題について</p> <p>(1) 女川原発再稼働問題での宮城県による「説明会」は、県の態度を決める前に県民の意見を聞くとして開催されているが、大崎市の農林系廃棄物焼却方針は決定した後の「説明会」だった。「話し合う協働のまちづくり条例」での「プロセスに馴染まない事案」との市長の認識は間違いではないのか</p> <p>(2) 市民団体からの処理問題での話合いの申し入れに対</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
3	8	八木吉夫	<p>し、裁判で係争中であることを理由にに応じていないそうだが、係争中だから本焼却を見合わせるべきではないのか</p> <p>(3) 最終処分場と焼却施設の、ある一定の基準以上になった場合に停止する「基準値」は「市民の安全・安心を第一に」考えるならば0.15 マイクロシーベルト・パー・アワーで統一するべきと思う。大崎地域広域行政事務組合に申し入れてはいかがか</p> <p>(4) 大崎地域広域行政事務組合は施設からの放射能漏れはゼロだから内部被ばくの心配はないと公判で主張している。大崎市は「不検出」とは放射能漏れゼロということではないと議会で答弁してきた。「漏れ」を認めるということは、内部被ばくの危険もありうるということではないのか</p> <p>2 水害防止対策について</p> <p>(1) 吉田川流域水害防止対策の優先順位及び抜本的対策の検討について</p> <p>(2) 姥ヶ沢地域の水害解消対策について</p> <p>1 コロナ対策支援について</p> <p>(1) 各種支援事業が展開され、好評を得ているものもあるが、物販小売業支援等、なかなか見えてこないものもある。さらなる支援が必要と思うが、所見を伺う</p> <p>2 新本庁舎建設について</p> <p>(1) 新本庁舎市民ホールの活用と生涯学習センター、市民ギャラリーとの相互関係について、所見を伺う</p> <p>3 農業振興策について</p> <p>(1) ごみ処理施設の廃熱温水利活用で、産業振興、特に農業振興策に生かす考えはないのか、所見を伺う</p>
4	16	加藤善市	<p>1 過疎化対策について</p> <p>(1) 過疎化対策について問う</p> <p>ア 現在の状況をどのように見ているのか</p> <p>イ 若い世代が考える住みよい地域とは</p> <p>ウ 高齢者の皆さんが求める地域の在り方とは</p> <p>エ 地域の皆さんが求める施政とは</p> <p>オ 世界農業遺産の保存、保護の考え方（水路、いぐね）</p> <p>カ 新しい発想の地域づくりの考え方</p>
5	9	佐藤講英	<p>1 アフターコロナ社会と加速させる本市の地方創生総合戦略について</p> <p>(1) 国・県における地方創生総合戦略について</p> <p>ア 第一期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の課題について</p> <p>イ これまで要した国の予算措置について</p> <p>ウ 第二期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の主な</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
6	18	関 武徳	<p>変更点について</p> <p>エ 新たに「横断的な目標」の追加の認識について</p> <p>オ 「稼ぐ地域」のワードの追加の意味について</p> <p>カ 経済的に結の強い市町村間の連携について</p> <p>(2) 本市の第一期地方創生総合戦略の成果と課題について</p> <p>ア 基本目標の達成に要した事業費と国・県の予算措置について</p> <p>イ 基本目標の事業継続とした事業費と国・県の予算措置について</p> <p>ウ 基本目標の事業終了とした理由と事業費と国・県の予算措置について</p> <p>(3) 本市の第二期地方創生総合戦略について</p> <p>ア 第一期の課題を生かした地方創生総合戦略について</p> <p>イ 達成した基本目標の第二期での対応と財政措置について</p> <p>ウ 消費者庁新未来創造戦略本部からの積極的な情報収集について</p> <p>エ アフターコロナ社会を総合戦略にどう取り入れるか</p> <p>オ 就業圏域ごとの目標設定と総合戦略の広域化について</p> <p>カ 豊かな自然環境はどこでもアピールしており差別化は容易ではない、具体的な戦略について</p> <p>1 新年度予算編成への方針考えを伺う</p> <p>(1) 新年度予算編成にあたり、どのようなことに主眼を置いた作業となるのか、各部各課に求める課題取組はあるのか。政府の予算編成作業が遅れた場合には、本市の予算編成に影響が出るのか、伺う</p> <p>(2) 昨年の台風被災やコロナ感染症対策への財源の一部にもなっている財政調整基金の残高見通しを伺う</p> <p>(3) 普通交付税の来年度の見通しはどうか</p> <p>(4) 交付税の不足分を臨時財政対策債で補えるが、臨時財政対策債はどのようなことに配慮して活用しているのか</p> <p>2 コロナ不況の影響と本市の景気、雇用維持拡大への取組について</p> <p>(1) コロナ感染症対策が長期化する中で、国内全体に経済活動や雇用環境に深刻な影響が出てきているが、本市の影響実態をどう捉えているのか</p> <p>(2) 一連のコロナ対策給付金や支援金の効果も含め、市内業種別・個人事業所、企業等の実情と経営見通し等についてどう調査、掌握されているのか、伺う</p> <p>(3) 来春の新規雇用をはじめ、雇用力維持拡大のための取組を伺う</p> <p>3 交流人口の拡大と観光振興策について</p> <p>(1) ゴー・トゥー・トラベルや割増し宿泊券事業等、支援効果の評価と、鳴子温泉全体の入り込み客数の動向や</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
7	5	山口 壽	<p>宿泊事業の現状を伺う</p> <p>(2) 誘客力強化への旅企画や情報発信は、どう取り組まれてきたのか、伺う</p> <p>(3) 今秋冬の行楽シーズンへの誘客や、来年度に向けた誘客強化策はどう取り組まれてきているのか</p> <p>4 長期化する大型商業施設空き店舗への対応について</p> <p>(1) 民間所有の大型商業施設が長期にわたり空き施設となっているが、これらの再活用や転用への働きかけの考えを伺う</p> <p>5 古川中心街区内の内水対策について</p> <p>(1) 解消しがたい古川中心部の内水対策について、当面の対策と今後の取組について伺う</p> <p>1 新型コロナウイルスにおける環境をどのような対策で乗り切るのか市長の考えを伺う</p> <p>(1) イベントや祭事が多く中止され、経済的に大きなダメージがあり市民や企業が落ち込んでいるが打開策はあるのか、伺う</p> <p>(2) 一次産業においても消費低迷が響いている。特に大崎耕土で生産されるブランド米の価格が心配である。市としての対策はあるのか、考えを伺う</p> <p>(3) 一時、建設資材が納入にならないという話があったが、鳴子総合支所や本庁舎建設の予算に影響はないのか。また、建設関係の予算、計画に影響はあるのか、伺う</p>
8	4	山口文博	<p>1 都市型水害対策と路面高温を緩和する舗装について</p> <p>(1) 透水性舗装による内水氾濫被害軽減について伺う</p> <p>ア 集中豪雨による都市型内水氾濫対策として、貯留能力を高める透水性舗装による、住宅地の生活道路や公共施設駐車場の舗装について伺う</p> <p>イ 道路の暑さ対策として市道のグレー舗装について伺う</p> <p>(2) 透水性コンクリートやグリーンビズ・グラウンドの使用について伺う</p> <p>ア ヒートアイランド防止、ゲリラ豪雨対策、騒音対策等環境問題に対応したデザイン性の高い建材を使用した歩道や公共施設の外構舗装について伺う</p> <p>(3) 住宅地の各戸貯留浸透施設の設置に対し、施工費助成について伺う</p> <p>2 少子化対策として思春期と若年成人のがん患者への助成と支援事業について</p> <p>(1) AYA世代がん患者の妊^{よう}孕性温存治療費助成について伺う</p> <p>(2) AYA世代がん患者の妊^{よう}孕性温存治療に対して、悩み相談、配慮や支援等のがん相談支援センターの対応について伺う</p> <p>(3) 骨髄移植ドナー支援事業への助成について伺う</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
9	11	佐藤弘樹	<p>1 職員人財育成について</p> <p>(1) 具体的な職員提案制度の内容と施策反映手法</p> <p>(2) ファシリテーション能力向上</p> <p>(3) 防災士資格取得による市民協働での防災意識向上策</p> <p>2 太陽光発電施設整備について</p> <p>(1) 太陽光発電施設と地域環境との調和を図るため、設置に係る事業計画の届出制度を創設する等、設置及び管理、抑制区域に関して必要な事項を定めるべきではないか</p> <p>3 児童厚生施設運営について</p> <p>(1) 児童館、児童センターの民営化方針と在り方への考えは</p> <p>4 新型コロナ対策について</p> <p>(1) 新型コロナ感染拡大時期に、市内の児童福祉施設などで勤務した職員に対し慰労金を支給する考えは</p> <p>(2) スクール・サポート・スタッフの配置、加配状況は</p> <p>(3) ワークーションの取組として、受入れ体制の整備、支援、広報等を進めるべきではないか</p> <p>(4) 地域まつり事業の代替措置として、小規模なイベントや催事に対する補助を政策的に創設する考えは</p>
10	14	鎌内つぎ子	<p>1 台風などの大雨災害から住民のいのちを守ることにについて</p> <p>(1) 常襲冠水対策</p> <p>ア 李埴第1排水区地域の雨水計画を前倒しで進められないか。また、稼働ポンプを常備設置できないか</p> <p>イ 一級河川大江川については、河川の浚渫整備を本気で県に働きかけるべき</p> <p>(2) 避難所について</p> <p>ア 県施設や民間施設も利用できるように</p> <p>イ 食料備蓄については、常備が必要ではないか</p> <p>ウ コロナウイルスとの関係で、密をどのように防ぐのか</p> <p>(3) 防災行政無線について</p> <p>ア 聞こえない場所に防災無線を増やせないか</p> <p>2 入札の在り方について</p> <p>(1) 1,000万円まで、それぞれの総合支所の地域性を考慮し、優先すべき</p> <p>3 少人数学級について</p> <p>(1) 新型コロナウイルス感染症の点でも少人数学級が急務だが、取組状況について</p>
11	2	伊勢健一	<p>1 農林業系汚染廃棄物について</p> <p>(1) 本焼却の進捗状況</p> <p>(2) すき込み処理の進捗状況</p> <p>(3) 加美町旧田代牧場に保管してある放射性汚染廃棄物の本市に与える影響について</p> <p>2 新型コロナウイルス感染症対策について</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
12	27	小沢和悦	<ul style="list-style-type: none"> (1) 感染症対策商工業支援事業の政策形成過程 (2) 今後の感染症対策商工業支援事業のあるべき姿 (3) 新しい生活様式に向けての放課後児童クラブや児童館のあるべき姿 <p>3 教育について</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 古川北部地区の小学校統合の進捗状況について (2) 統合後の小学校の具体像 (3) 外国籍の子供の教育について <p>1 大崎市の認知症対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 大崎地方合併協議会が目指した新市—大崎市の認知症予防・医療等の方向を継承発展させる考えを市長はお持ちか (2) 執行部が「不採算医療分野」と認める認知症医療について、市長は病院設置者として、大崎市民病院の果たすべき役割をどう位置づけ推進をするのか (3) 「新大崎市民病院改革プラン」を継承発展させる新たな「プラン」と「病院ビジョン」について <p>2 新型コロナウイルス感染症発生後の学校臨時休業中の児童館等における事態と諸問題への対応について</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 学校はガラガラ、児童館等は「密」という事態を回避すること、児童館等の人的体制補強策は考えられなかったのか (2) 指導員らが歯を食いしばって頑張っているとき、児童館民営化の話をなぜ持ち出し、職員を動揺させたのか (3) 大変な御苦勞をいただいた児童館等の指導員、職員が国の慰労金支給対象外とされたので、仙台市同様、大崎市独自に「慰労金」を支給すべきと思うがいかがか <p>3 女川原子力発電所再稼働問題への市長の対応について</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 原発事故が起きれば、東日本大震災の際の福島県下のような重大事態が想定される大崎圏域で、女川原発再稼働に係る宮城県主催の説明会が予定されていないことについて (2) 市民の安全・安心を守らなければならない立場にある市長の女川原発再稼働問題に対する態度表明について
13	12	中鉢和二郎	<p>1 新型コロナウイルス感染症に対応した学校再開ガイドラインについて</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) このガイドラインは、学校等の再開が果たされた際、子供たちが安心して登校、登園できるよう作成したものであり、学校等における新型コロナウイルス感染症（COVID-19）対策の基本であり、各学校においてその積極的な履行が求められている。しかし、ガイドラインが規定している内容は広範に及び、その完全な履行は教職員の大きな負担となっているものと考えられる。特に4ページ「3 学校での生活①」の一番下の「空き時間の教員等は、休み時間終了後に校舎を巡回し、蛇口やドアノブ、階段の手すり、照明のスイッチ

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
14	24	山村康治	<p>など、児童生徒が共用する箇所は適宜、消毒液（消毒用エタノールや次亜塩素酸ナトリウム等）を使用して、こまめに消毒を行う。」はかなりの負担になっているのではないだろうか。</p> <p>昨今の調査研究によれば、感染経路は飛沫感染やエアロゾルによるものが主なものであるとのこと。接触感染は、手洗いの励行と手指消毒で対策できることから、この項目を削除しても大きな影響が出ないものと考えられる。合理性と実効性を踏まえ、当該ガイドラインを見直す考えについて伺う</p> <p>2 イノシシ「ジビエ」について</p> <p>(1) 昨今、有害鳥獣であるイノシシの被害が拡大の一途である。捕獲による個体数管理が必要で、捕獲を加速するためには、イノシシの肉を有効に活用する仕組みの構築が求められている。以前から提案しているが、イノシシ「ジビエ」について所見を伺う</p> <p>3 スクールバスの安全管理について</p> <p>(1) 9月2日、岩出山地域のスクールバス同士の衝突事故が発生した。あってはならないことが起きてしまった。しっかりと原因究明、再発防止のための安全管理計画策定と、関係者の情報共有による安全意識の向上が求められる。安全管理が徹底されるまでは運行停止とすべき事案である。しかし、スクールバスは通学の足であり、長期にわたる運行停止は避けなければならない。早急なアクションが求められる。どう対処するのか、所見を伺う</p> <p>1 農福連携推進について</p> <p>(1) 「みやぎ農福連携推進ネットワーク」に、大崎市内での登録数と大崎市として加入しているのか、伺う</p> <p>(2) 大崎市の「農福連携」への取組状況と推進策を伺う</p> <p>(3) 大崎市として農業団体や福祉事業者とのマッチングへのサポートはされているのか、伺う</p> <p>(4) 「市内に4つ目の道の駅をつくる会」の規約第4条、目的の一文に、障がい者等の雇用の場の確保とうたっている。真に農福連携を視野に入れた地域振興施設を示唆しているが、このことへの所見を伺う</p> <p>2 コロナ禍における移住定住促進策について</p> <p>(1) 新型コロナウイルス感染症の急増により、首都圏での転出が転入を上回ったと報道がある。首都圏一極集中は是正の好機で地方分散への流れが加速すると言われているが、大崎市としてどう捉えているのか、伺う</p> <p>(2) 新型コロナウイルス感染症の拡大により、田舎暮らし、田園回帰志向が高まっている。みやぎ移住サポートセンターと連携した受け皿対策をどう考えているのか、伺う</p> <p>(3) 東北管区行政評価局が行った移住、定住の実態と促進策についての調査結果が公表され、大崎市の取組が紹</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
15	3	鹿野良太	<p>介されたが、人口減少に歯止めがかからない現状を踏まえ、さらなる施策の拡充を講ずるべきと思うが、所見を伺う</p> <p>3 市内建設業対策について</p> <p>(1) 総合支所に対応できる工事金額が1件上限130万円だが、引き上げは考えられないか、伺う</p> <p>(2) それぞれの地域特性を考慮し、入札において「地域限定」や「総合評価加点」を付加できないか、伺う</p> <p>(3) 市では大崎市建親会と「災害等応急対策の協力に関する協定」を締結しているが、いざ災害時にはライフラインの復旧、確保に迅速に対応されていることに対する市の評価を伺う</p> <p>1 市長は次期（新）政権に何を求めるか</p> <p>(1) 次期（新）政権に大崎市発展のために何を求め、期待し、地方創生を強く推進していくのか、所見を伺う</p> <p>2 西古川地区内の安全対策について</p> <p>(1) 中新田方面（県道）から西古川駅構内へ車両がスピードを出して侵入するケースが目立つ。県道から駅構内へ入る際に、一時停止または徐行するのが望ましいと考えるが安全対策が必要ではないか、伺う。また、平日夕方の学生の帰宅時間帯に駅付近（駅敷地内、県道、市道）が迎えの車でいっぱいになり、周辺住民の通行や商店に影響が出ているが、対策を講じる必要について、所見を伺う</p> <p>(2) 氷室行政区の冠水地帯解消に向けた対策を伺う</p> <p>(3) 国道347号の抜け道として、市道飯川耳取線の交通量が増加しているが、泥押橋の老朽化対策を伺う</p> <p>(4) 今後古川西部小学校統合場所である古川西中学校周辺の通学路整備について、徒歩で通学する児童のための歩道整備について伺う</p> <p>(5) 西古川児童遊園内の老朽化したSLが危険とされており、撤去方針が示されている。市民によるSL保存の動きもあるが、今後の撤去予定を伺う</p> <p>3 自殺対策の進捗と現状について</p> <p>(1) 平成31年2月に策定した大崎市自殺対策計画の進捗を伺う</p> <p>(2) 大崎市自殺対策計画はコロナ禍でも実施効果が期待できるのか。計画をどのように活用し、自死を防いでいくのか、伺う</p>
16	19	遊佐辰雄	<p>1 新型コロナウイルス感染症に係る経済対策支援事業について</p> <p>(1) ものづくり企業雇用・事業継続支援制度の趣旨を生かし、感染症拡大防止協力金の対象外となった事業者に対する支援策を全業種に拡大すべきではないか</p> <p>(2) 国や県、市等の各種支援制度の活用サポート体制につ</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
17	6	佐藤仁一郎	<p>いて</p> <p>ア 支援金, 給付金等の申請が難し過ぎるので, 簡便化できなければサポートする体制をつくるべきではないか</p> <p>イ 税の猶予や減免等申請の窓口を一本化できないか</p> <p>2 イノシシ等被害対策と駆除の主たる責任について</p> <p>(1) イノシシ等の被害は, 中山間地の農業にとって死活問題との認識はあるのか</p> <p>(2) 農地等を守るため努力するのは農家で, その支援は行政だが, 駆除対策は行政の仕事ではないのか</p> <p>(3) 徹底した駆除には専門的, 職業的に当たれるような仕組みを構築すべきではないのか</p> <p>(4) やる気のある人には, 全員に協力していただく努力をすべきではないか</p> <p>1 水田の貯留機能・田んぼダムの活用について</p> <p>(1) 田んぼダムは, 水稻生産にプラスの効果はあるか, 伺う</p> <p>(2) 田んぼダムは, 流域内治水の一端を担えるか, 伺う</p> <p>(3) 貯留機能としての評価を伺う</p> <p>(4) 田んぼダムの取組の負担者と受益者の考え方を伺う</p> <p>(5) 農家の負担軽減と地域ぐるみでの取組について</p> <p>(6) 公的支援の必要性を伺う</p> <p>2 入札制度について</p> <p>(1) 災害時などにおける地域貢献の取組に対する評価について</p> <p>(2) 地元優先の発注について</p> <p>(3) 予定価格の事前公表について</p> <p>3 公共工事の施工時期の平準化に向けた取組について</p> <p>(1) 本市における取組状況を伺う</p> <p>(2) 大崎市国土強靱化地域計画など, 各種計画に示されている事業を踏まえ, 年度当初から発注, 稼働できないか, 伺う</p>
18	28	佐藤 勝	<p>1 〈改訂版〉大崎市人財育成方針から考えられる市民協働のまちづくりについて</p> <p>(1) 職員の柔軟な思考力を生かす行動計画は</p> <p>(2) まちづくりに参画する意欲と貢献度の評価は</p> <p>(3) 昇給, 昇格では計れない, やりがいを実感できる満足度の向上は</p> <p>(4) 小学校統合による跡地利用の市民協働と行政の役割</p> <p>2 舗装修繕事業キャンペーンと銘打った起債事業は次年度までであるが, これからも重点施策として取り組む予定か</p> <p>(1) これまでの総括と市民満足度の評価は</p> <p>(2) 路面性状調査として位置づけたこれまでの修繕総延長は</p> <p>(3) 古川荒谷から栗原高清水間の未4車線化の事業着手と沿線企業の協力体制は</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
19	22	山田和明	<p>3 一級河川萱刈川上流部の再改修事業の遅延の原因について</p> <p>(1) 管理者の県と栗原市と本市の協議の経緯は</p> <p>(2) 利用する田尻、瀬峰両地区の動向は</p> <p>(3) 世界農業遺産巧みな水管理としての位置づけは</p> <p>1 コロナ禍の医療提供体制の確保について</p> <p>(1) 市民病院の医療提供体制を維持，確保するための取組推進</p> <p>(2) 季節性インフルエンザ流行期に備え，かかりつけ医等に相談，受診できる体制の整備</p> <p>2 大崎市景観計画と景観条例について</p> <p>(1) 景観形成重点地区候補地の考え方について</p> <p>(2) 太陽光発電設備等が増える中，景観上小さな設備であっても景観を壊すことになるが，検討会議の中でどう議論されているのか</p> <p>(3) 太陽光発電設備等は建築基準法に当たらないので，条例を制定し制限をすることについて</p> <p>3 鹿島台地域の水害常襲問題の抜本対策について</p> <p>(1) 鹿島台地域の水害常襲問題の解決に向けた取組として「水害に強いまちづくり」事業でどう推進していくのか</p> <p>(2) 志田谷地地区や姥ヶ沢地区を対象にしたワークショップの在り方について</p> <p>(3) 主要地方道鹿島台鳴瀬線野蒜街道第1踏切付近に架かる橋の架け替え及び山王江機械排水路の堆積土砂撤去について</p> <p>(4) 鹿島台地域内で田んぼダムを活用することについて</p>